

第13回 かながわ感動介護大賞



『I' m so happy』

100歳の人生を静かに締めくくった笑顔

社会福祉法人平成記念会
介護老人福祉施設ヴィラ神奈川

小林 拓也様

今年、100 歳を迎えられた利用者様が静かに旅立たれました。
そのお顔は穏やかで、まるで満ち足りた人生を象徴するかのようでした。
私たちの施設では昨年より「看取りケア」を開始し、手探りながらも利用者様一人ひとりの「最後の時間」を大切にしようと努めてきました。
高尾山への登山やご家族との食事会など、様々な希望に寄り添ってきました。
この方は、環椎骨折で寝たきりにもかかわらず、笑顔を絶やさず、私たちにも気遣いをしてくださる優しい方でした。ご家族は加療や転院など悩み抜いた末、看取りを決意されました。
最期の願いは「一度、自宅に帰りたい」。その思いをどうにか叶えたくて、急ではありましたが、一時帰宅を実施。
「今日、おうちに帰れますよ」と伝えた時の「I' m so happy」という笑顔は、今も忘れられません。帰宅後は穏やかに過ごされ、施設へ戻られた後、静かに息を引き取られました。
後日、ご家族よりこんなお手紙をいただきました。
「母から度々『ここに死ぬまでいるのか』と尋ねられ、家に帰りたいのかと身構えていましたが、その真意は『ここで最後まで過ごしてもよいのか』というものでした。
「母にとって、ここはとても居心地のよい場所だったようです。」
このお手紙を見た時、私たちは胸がいっぱいになりました。
もっと早くから関わりたかった、もっとできたことがあったのでは、そんな思いもあります。
今後も「I' m so happy」を引き出せるような最後の時間に寄り添っていきたいと思います。

